



メーカー管理用です。

TOTO

ウォシュレット® 一体形取替機能部 施工説明書 washLET®

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。 ◆"ウォシュレット"はTOTOの登録商標です。

必ず実施

従来にはない 設定が必要です。

リモコンの「大」洗浄ボタンを押すと自動で便器洗浄水量を設定します。

→裏面「**① 試運転**」**② 便器洗浄水量の設定**」を参照

取り替え可能便器一覧表

ウォシュレット部 TCF○○○	ウォシュレット部 品番	便器部品番	施工タイプ	
 便器部 CS○○○	TCF9011系	CS87系	A	
	TCF9011R系	CS978系		
	TCF9021系	CS979系		
	TCF9021R系			
	TCF9031系			
	TCF9041系			
	TCF9051系			
	TCF9061系			
	TCF9071系			
	TCF9081系			
	TCF9091系			
	TCF9032系	CS352系		B
	TCF9042系	CS393B系		
	TCF9052系	CS88系		
	TCF9053系	CS963B系		
TCF9062系	CS972B系			
TCF9063系	CS973B系			
TCF9082系	CS982B系			
TCF9092系	CS983B系			
TCF9133系				
TCF9143系				
TCF931系				
TCF932系				
TCF943系				
TCF944系				

※機種によって、製品の形状が異なります。

同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

リモコン部品 リモコン ねじ (3本) 乾電池 (単3形×2本) アンカープラグ (3本)	手洗管組品 (手洗い付のみ) 手洗管 フック ロータンクパッキン 	止水栓 (給水フィルター付) <p>※必ず同梱の止水栓を取り付けてください。</p>
取付ボルト組品 プラグ (4本) ワンタッチナット (4個)	コネクターボックス組品 (施工タイプ A のヒーター付便器のみ) コネクターボックス ねじ (4本) 便器ヒーター用電源コード	印刷物

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

● 絵表示の例 ○してはいけない「禁止」の内容です。 ●必ず実行していただく「強制」の内容です。

	警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
○	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災、感電、発熱、ショートの原因になります。) ●指定する電源 (交流100V) 以外では使用しない (火災や発熱の原因になります。) ●電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない (火災や感電の原因になります。) ●水道水および飲用可能な井戸水 (地下水) 以外は使用しない (故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。) ●コンセントは給水位置の真下に設置しない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。) ●給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。) ●車輻・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、ショート、故障などの原因になります。) ●(便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。)
●	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。) ●アース (D種接地) を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
	注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される」内容です。
○	<ul style="list-style-type: none"> ●便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。) ●給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない (水漏れの原因になります。) ●止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓や、給水フィルターを取りはずさない (水が噴き出します。)
●	<ul style="list-style-type: none"> ●施工は施工説明書に従って確実に進行 (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。) ●給水フィルター付水抜栓や、給水フィルターを取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。) ●電池の+-表示をよく確かめて入れる (電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。) ●長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく (電池の液漏れの原因になります。)

取り付け前のご注意

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
3. ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
4. 電源は交流100V(50/60Hz)です。

定格消費電力	※()内はヒーター付
324W (360W)	便器の場合

 右表の電力に適した配線をしているか確認してください。
5. 電源コードの長さはウォシュレット：約1.0m、ヒーター付便器：約1.0mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
6. 給水圧力範囲は0.05MPa (流動時) ~ 0.75MPa (静止時) です。この圧力範囲でご使用ください。

給水圧が低いとタンクに水がたまる時間が長くなる場合があります。
7. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
8. 同梱以外の止水栓、パッキンを使用しないでください。

※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。
 TEL ☎ 0120-8282-55 FAX ☎ 0120-8272-99

給水ホースの長さが足りない場合	給水ホース長さ違い一覧表	
給水ホースの長さは約535mmです。	給水ホース長さ(mm)	品番
給水ホースの長さが足りない場合は、右表の給水ホースをご購入ください。	785	TCA249

●仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

取付方法

- 機種によっては、製品の形状などが異なります。
- 分岐金具・パッキンは必ず同梱のものを使用してください。

1 既設のウォシュレット本体を取りはずす

① 水栓の元栓を閉める

※元栓を閉めるときは、ガス給湯器や洗濯機などの使用を止めてください。
※元栓を閉めた後に、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

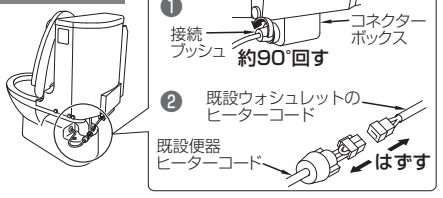
② 便器洗浄操作を行い、ロータンクの水を抜く

※給水されていないことを確認してください。

③ 電源プラグをコンセントから抜く

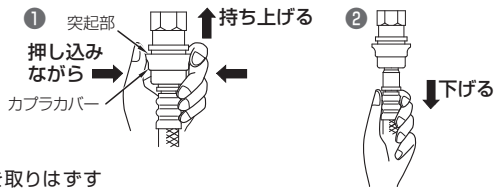
施工タイプ A のヒーター付便器の場合

ヒーター線の接続ブッシュを約90°回して、既設のウォシュレットからはずしコネクターをはずす

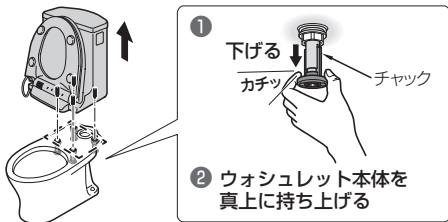


④ 既設のリモコンを取りはずす

⑤ 連結ホースを取りはずす



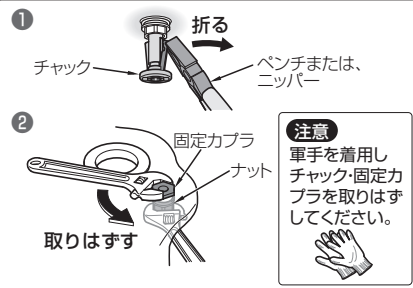
⑥ ウォシュレット本体を取りはずす



7 固定カブラを取りはずす



注意
取りはずす際、便器にキズを付けたり、破損させたりしないでください。
水漏れの原因になります。



2 止水栓を取り替える

① 既設の止水栓を取りはずす

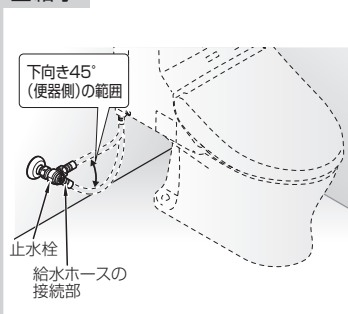
※給水口と排水口は、ゴミなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。

② 止水栓を取り付ける

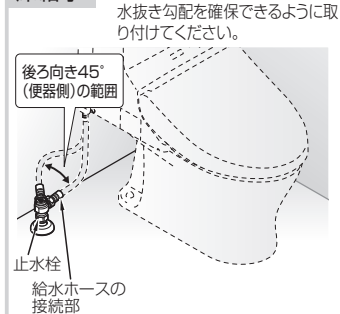
注意
必ず同梱の止水栓（給水フィルター付）を取り付けてください。

給水ホースがきちんとおさまるように下図の範囲で給水ホース接続部を折れ曲がらないように取り付けてください。

壁給水



床給水



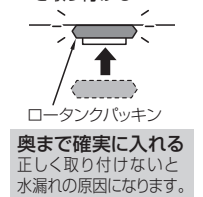
取付方法

3 ウォシュレット本体の取り付け

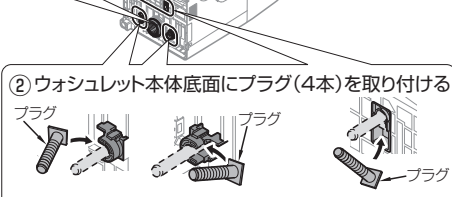
施工タイプ A のヒーター付便器の場合

コネクターボックスと便器ヒーター用電源コードの取り付けが必要です。
ウォシュレット本体への通水・通電前に取り付けてください。
取り付け方法は、別紙【コネクターボックス取り付け説明書】をご覧ください。

① ウォシュレット本体底面にロータンクパッキンを取り付ける



② ウォシュレット本体底面にプラグ(4本)を取り付ける



③ ウォシュレット本体を便器に取り付ける

お願い

ウォシュレット本体を持ち上げるときは、給水ホースを図のように持ってください。
(壁、製品の破損や傷つきを防ぐため)

ロータンクパッキンが取り付けられているか確認

ウォシュレット本体

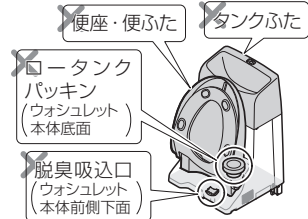
注意

- パッキンおよび給水口周辺のゴミは必ず取り除いてください。
ゴミを取り除かなかつたり、ウォシュレット本体をななめにおろすとパッキンがめくれたり、水漏れの原因になります。
- ウォシュレット本体を持ち上げるときは、下図の場所は持たないでください。
下図の場所を持つと、便ふたがはずれたり、製品が破損する原因になります。



便器給水口周辺のゴミを取り除く

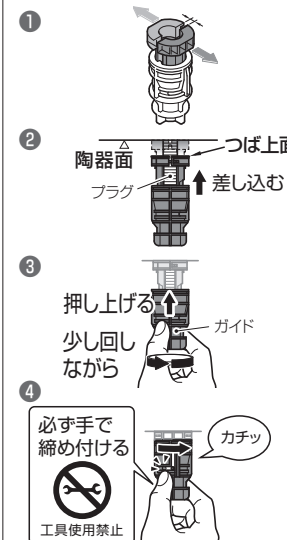
便座・便ふた
タンクふた



④ ワンタッチナット(4カ所)でウォシュレット本体を固定する

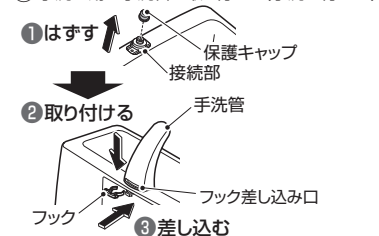
※後側2カ所を先に固定してください。
その後、便座の位置を合わせて前側2カ所を固定してください。

注意
ワンタッチナットを締め付けるときは必ず手で行ってください。
工具を使用すると破損の原因になります。

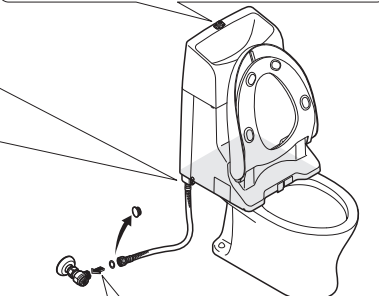


確認!
※ウォシュレット本体のガタつきがないことを確認してください。

⑤ 手洗い用の手洗管を取り付ける(手洗い付のみ)



ウォシュレット背面のフック差し込み口の位置を確認し、フックを確実に取り付けます。
※取り付け後、手洗管を軽く引っ張って、はずれないことを確認してください。
※接続部を水でぬらしておくと、手洗管が差し込みやすくなります。

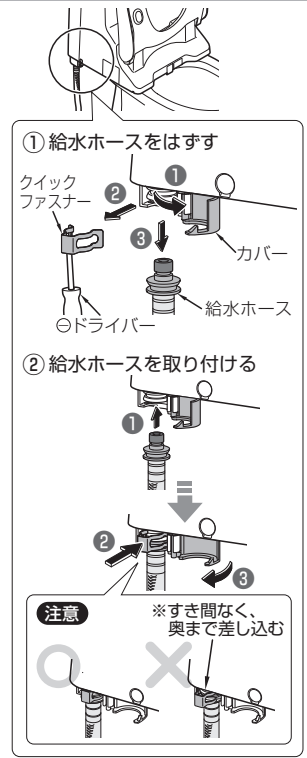


取付方法

3 ウォシュレット本体の取り付け (つづき)

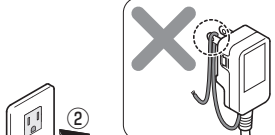
給水ホースの長さが足りない場合は、適切な長さのホースをご購入ください。
(表紙「給水ホースの長さが足りない場合」参照)

長さ違いの給水ホースを取り付ける場合



電源プラグ(アース線)の接続と確認

お願い ノズル伸出口にテープが貼られている場合ははがしてください。



ノズルがいったん出て戻ると初期動作を行うか確認する

コンセントが電源コードの反対側にある場合
電源コードはタンクの裏側から通す

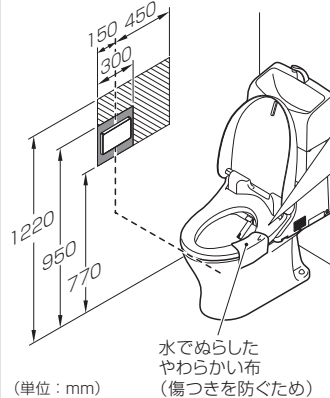
ヒーター付便器の場合
ウォシュレット用電源プラグ、便器ヒーター用電源プラグ

リモコンの取り付け

1 リモコンに乾電池を入れる

2 取付位置を決める

取付位置の目安
使いやすい位置の目安



【作動の確認】

① 便座の右側を手で押し、着座スイッチを入れる



② 「おしり」ボタンを押してノズルが伸出することを確認する

③ 「止」ボタンを押す

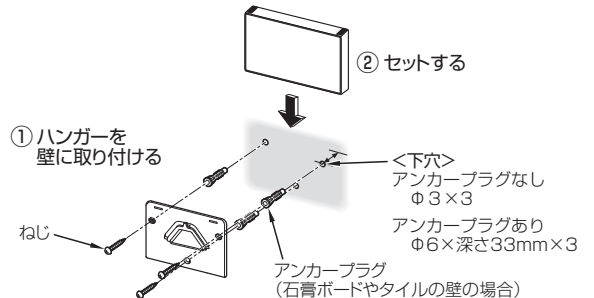
④ 動作しない場合

→ リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認

※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が動作しないことがあります。

- 室内の広さ、壁、材質などの条件が合わないとき
- 黒っぽい天井や壁のとき
- インバーター方式の照明下のとき

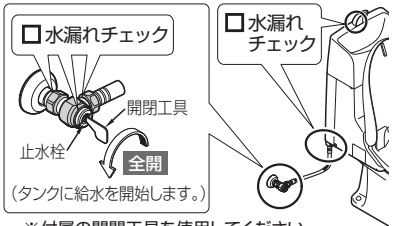
3 ハンガーの取り付け



試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

● 試運転の前および試運転完了時は必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

1 ウォシュレット本体の確認



※付属の開閉工具を使用してください。作業が完了したら、必ずお客様にお渡しください。
※タンク給水中「ヒュー」という音がする場合は、給水圧が高くなっていますので、音が鳴らなくなるまで止水栓を少し右へ回してください。
※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



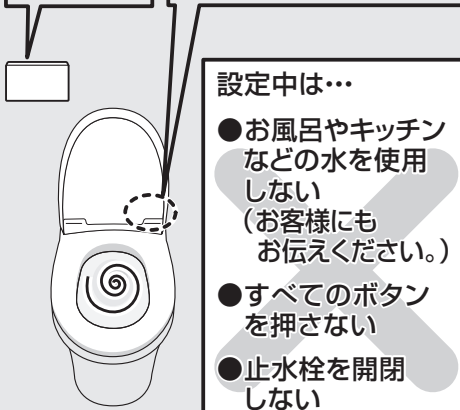
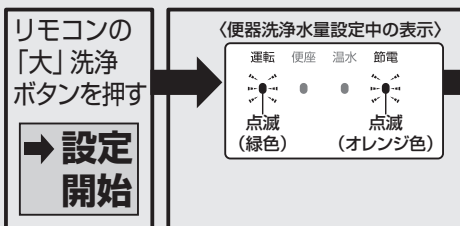
□ 「運転」ランプが点滅していませんか
→凍結防止が「入」に設定されています。
※仕様をご説明のうえ、お客様が希望された場合のみ設定を行ってください。

●凍結防止を「入」にすると、次のように作動します。



2 便器洗浄水量の設定

■本製品は、最初の便器洗浄時に自動で使用環境の水圧条件を計測し、便器洗浄水量を設定します。



自動で3回または6回連続で便器洗浄し、完了するまで最大約10分かかります。

正しく洗浄水量の設定ができない原因になります。



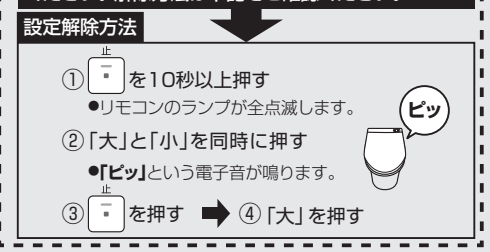
次のような場合は、正しく設定できておりません。

(一定時間で通常の表示に戻ります。)

・製品からの電子音 「ピーツ、ピーツ」



一度設定を解除してから、もう一度、設定しなおしてください。解除方法は下記をご確認ください。



試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

3 機能の確認

□ 便器洗浄時にウォシュレット本体底面から水漏れなどの異常がないかを確認しましたか

□ ノズルから洗浄水が出ますか
(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分かかります。)

【作動の確認】

① 便座の右側を手で押し、着座スイッチを入れる



スイッチ ON!

- ② 「おしり」ボタンを押す
- ③ 「止」ボタンを押す

紙コップ



水でぬらしたやわらかい布 (傷つきを防ぐため)

給水フィルターの掃除 (試運転後)

【便器側】

1 電源プラグを抜く

2 ノズルを伸出させる ※給水管内の圧抜きです。
1. 「ノズルそうじ」ボタンを押す、ノズルを伸出させる
2. もう一度「ノズルそうじ」ボタンを押してノズルを戻す

1 止水栓を閉める

2 給水フィルターを分解する
歯ブラシなど、開閉工具

3 水漏れチェック
全開

【ウォシュレット側】

1 止水栓を閉める、カバーを脱着する

2 ノズルを伸出させる ※給水管内の圧抜きです。左記【便器側】①-②参照

1 給水フィルター付水抜栓を分解する
ドライバー、ぞうきんなど

2 水漏れチェック
全開、カバー

製品引き渡しまでの期間が長い場合 ※必ず水抜きをしてください。(故障の原因)

- 1** ■流動方式のとき
止水栓を閉める
■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める
お願い 止水栓は開けたままにしておいてください。

- 2** タンクの水を抜く
① リモコンの「大」洗浄ボタンを押す

② ウォシュレット本体(右側)の手動レバーを取りはずす

③ 手動レバーを水が出なくなるまで引っ張る

④ 手動レバーを元の位置に戻す

- 3** 配管の水を抜く
(給水フィルターの掃除(試運転後))
【ウォシュレット側】
①-②③④⑤⑦項参照
※電源プラグは抜いたままにしておいてください。

4 水抜きプラグをはずす (給水フィルター付水抜栓)
水抜きプラグ、ぞうきんなど、ドライバー

● ノズル付近から水が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで約90秒かかります。

5 水抜きプラグ、カバーを取り付ける

■凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、破棄処分するようにお客様にお伝えください。)

工事店様へ

- 使用しない乾電池は、工事完了後お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。

- 連立対応については、(URL) <http://search.toto.jp/contents/navi/> の「施工情報」→「ウォシュレットリモコン連立対応方法」をご覧ください。